

審議会の進め方について（事務局案）

地域審議会の最終目標

市長へ提言書の提出（平成25年3月末まで）

地域審議会の趣旨

新市建設計画の進捗状況をはじめ、それぞれの地域のまちづくりに関して市長に対し意見を述べる。

（諮問事項：新市建設計画の進捗状況並びに同計画期間終了後の方向性）

提言書作成に向けて

第一段階【準備】

○個別検証のための評価基準の設定

ハード事業とソフト事業はそれぞれ別基準でのランク分けが必要。

ハード事業・・・未実施事業の優先度設定

例：実施優先度順位

パターン 1	A	早急に実施すべき重要事項
	B	環境が整い次第実施すべき事項
	C	実施の必要性が低いと考えられる事項

パターン 2	A	早急に実施すべき重要事項
	B	環境が整い次第実施すべき事項
	C	規模を縮小して実施すべき事項
	D	事業内容を見直し、再検討すべき事項
	E	実施の必要性が低いと考えられる事項

ソフト事業・・・事業の重要性と実施状況に対する評価

例：各事業の重要性と実施状況に対する満足度のクロス集計

重要性	A	事業の重要性は高い
	B	事業の重要性は一般的である
	C	事業の重要性は低いと考えられる
満足度	1	実施状況に対する満足度は高い
	2	実施状況に対する満足度は普通である
	3	実施状況に対する満足度は低いと思われる

クロス集計の結果をもとに、各ソフト事業の今後の在り方を検討。

○新市建設計画掲載事業の個別検証

①ハード事業における未実施事業(検討中・未着手・中断)の個別検証。

～個別検証の流れ～

ア 新市建設計画の未実施ハード事業(11事業・徳山地区該当分)について、事業内容、未実施の理由、今後の方向性について確認。
参照:(資料2)新市建設計画未実施ハード事業



イ 事業内容等に関する質疑・調査

全11事業で上記作業が終了後

ウ 各事業の優先度を決定
・各事業の優先度(ランク分け)とその理由についての協議

一件ずつ繰り返す

②ソフト事業(全50事業)についてもハード事業と同様、一件ずつ検証を実施。

ただし、ソフト事業は事業数が多いため、各基本方針を1セット(資料4参照)として、検証作業(上記:ア → イ → ウ)を進める。

第二段階【提言書の作成】

提言書の構成(事務局案)

前半 新市建設計画の各事業(徳山地区該当分)の進捗状況に対する全体評価

後半 徳山地区にとって重要と思われる事業の選定

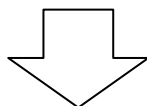
提言書作成における協議事項

・進捗状況に対する全体評価

個別検証の結果を踏まえ、ご協議のうえ全体的な評価の決定。

・重要と思われる事業の選定

徳山地区にとって重要と思われる事業を、新市建設計画掲載事業の中から選定し、該当事業に対する徳山地区地域審議会としての要望事項をまとめる。(選定事業は、新市建設計画の基本方針に沿っていれば派生事業でも可。)



協議した上記2つの内容を骨子として提言書を作成